

報道関係者各位

佐賀県 武雄市役所

## 青山商事株式会社様から 武雄市への「防災毛布」寄贈および贈呈式の実施について

いつも大変お世話になっております。下記についてお知らせいたします。  
貴報道でのお取り扱いについて、ご配慮賜りますようお願い申し上げます。

この度、武雄市では、青山商事株式会社様より武雄市に「防災毛布」を寄贈いただきました。昨年8月にも防災毛布100枚を寄贈いただいております。昨年に引き続き寄贈いただくこととなります。

つきましては、贈呈式を行いますので、ぜひ取材していただき、貴報道で取り上げていただきますようお願いいたします。

■日時：令和6年8月9日（金）13:30～

■場所：武雄市役所4階 第一応接室

■寄附：「防災毛布」100枚

■当日の出席者：

寄附者：青山商事株式会社 広報部長 長谷部 道丈

洋服の青山 アクロスプラザ武雄店 店長 井手 隆太郎

武雄市：武雄市長 小松 政 他 関係職員

■経緯

青山商事株式会社様は、エコ活動の一環として、お客様から不要になったスーツ等を下取りし、主に海外へのリユースや車の断熱材・荷物の緩衝材などにリサイクルされています。近年全国的に自然災害が多発し、大きな被害が発生していることを受け、平成30年12月から新たな取り組みとして「防災毛布」へのリサイクルを開始されました。

防災毛布で地域貢献につながる取り組みを実施する青山商事株式会社様に、自主防災活動を積極的に行い災害に強いまちづくりを進める本市の取り組みにご賛同いただき、防災毛布を100枚ご寄贈いただくことになり、贈呈式を実施することとしました。

— 本件に関するお問い合わせ先 —

武雄市総務部防災・減災課 TEL 0954-23-9223

2024年8月2日

## 自治体の災害対策を支援 お客様から回収した不要衣類をリサイクル毛布に 佐賀県武雄市へ「防災毛布」を寄贈 ～佐賀豪雨での災害から5年、8月9日に贈呈式を開催～

青山商事株式会社（本社：広島県福山市／代表取締役社長：青山<sup>おさむ</sup>理）は、佐賀県武雄市へ「防災毛布（災害支援用リサイクル毛布）」100枚を寄贈いたします。これに伴い、8月9日（金）に武雄市役所にて贈呈式を開催します。当社は2018年より、お客様から回収した不要衣類の一部をリサイクルし、防災毛布を作製しています。2019年からこれまでに国内で計11自治体・総数2100枚を寄贈しており、武雄市へは2023年8月に続き2度目の寄贈となります。



当社では、①過去に大規模な自然災害を経験した地域 ②災害発生時に物資が届きにくい離島や遠隔地 ③当社店舗を営業している地域 の3つの基準を設けて地方自治体へ防災毛布を寄贈しています。武雄市は、2019年8月の佐賀豪雨や2021年8月の記録的大雨において、浸水や土砂災害に見舞われており、当社店舗も浸水被害により休業期間が発生しました。このような過去の経験から、災害に強いまちづくりを推進し、自主防災活動が積極的に行われています。そして「洋服の青山 アクロスプラザ武雄店」は2005年11月より営業し、長年に渡り地域の皆様にご愛顧いただいている点から、自治体の防災対策に貢献できればと武雄市へ防災毛布を寄贈することになりました。

### 【贈呈式 概要】

日 時：2024年8月9日（金）13:30～  
場 所：武雄市役所 4階 第一応接室（佐賀県武雄市武雄町大字昭和12-10）  
出席者：武雄市 市長 小松 政 様  
青山商事株式会社 広報部長 長谷部 道丈  
洋服の青山 アクロスプラザ武雄店 店長 井手 隆太郎  
寄贈品：防災毛布（災害支援用リサイクル毛布）100枚／1枚あたりのサイズ 200cm×140cm



私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

### 《本件に関するお問い合わせ先》

青山商事株式会社 東京オフィス 広報部 岩永、長谷部  
〒110-0005 東京都台東区上野4-5-10 青山上野ビル 7階  
TEL:03 (5846) 5656 MAIL: pr@aoyama-syouji.co.jp

防災毛布（災害支援用リサイクル毛布）の寄贈取り組み

防災毛布は、店頭で回収したスーツ等の一部をリサイクルして作られています。当社では、お客様と取り組むエコ活動の一環として、着なくなった衣料品を「洋服の青山」「スーツスクエア」などで回収し、クーポン券と交換しています。回収した衣類は、主に海外でのリユースや、車の断熱材・荷物の緩衝材などにリサイクルされており、2018年からは近年の全国的な自然災害の激甚化・頻発化を鑑みて防災毛布へのリサイクルも開始しました。全国47都道府県（離島含む）に営業店を展開する当社として、被災の経験から災害対策に取り組む地域住民の皆様にも少しでもお役立ていただければと、2019年より自治体へ寄贈しております。

寄贈自治体	寄贈年月日						防災毛布の 寄贈総枚数	備考
	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		
石川県輪島市	3月25日	3月25日	3月25日	3月25日			400	3月25日：輪島市民防災の日
新潟県佐渡市		9月1日		9月1日	9月1日		300	9月1日：防災の日
鹿児島県奄美市		10月21日		10月21日	10月20日		300	平成22年10月奄美豪雨災害 (2010年10月)
熊本県天草市			7月12日	7月4日	7月12日		300	令和2年7月豪雨災害 (2020年7月)
鹿児島県龍郷町			10月20日				100	平成23年9月奄美大島北部豪雨災害 (2011年9月)
長崎県島原市					6月2日	5月27日	200	平成3年6月3日 雲仙普賢岳大火砕流 (1991年6月3日)
佐賀県武雄市					8月18日		100	令和元年8月 佐賀豪雨災害 (2019年8月)
宮崎県小林市					9月13日		100	令和4年9月 台風14号による被害 (2022年9月)
大分県日田市						7月5日	100	平成29年7月九州北部豪雨による被害 (2017年7月)
福岡県田川市						7月11日	100	平成24年7月九州北部豪雨による被害 (2012年7月)
沖縄県名護市						8月1日	100	令和5年台風6号による被害 (2023年8月)
							合計 2100枚	

回収した衣類から防災毛布へのリサイクル工程



- ・「洋服の青山」「スーツスクエア」などで回収されたスーツ等の一部は、工場では裁断され、ガーネット反毛機で綿状に加工されます。その後、綿状になった原料と再生ポリエステルを混ぜ合わせ、糸の元が作られます。
- ・専用機械で撚りをかけて糸に仕上げます。この糸を紡織機で織り上げて反物にし、表面を起毛させ毛先を揃えます。
- ・反物の端にパイピング仕上げを施して毛布が完成します。
- ・出来上がった毛布は真空パック詰めし、段ボールに梱包して弊社の商品センターにて保管しています。

## 不要衣類の回収方式を進化させた、リサイクリング BOX 「WEAR SHiFT (ウェアシフト)」

当社は、これまで「下取りサービス」として店頭でお客様が不要になったスーツや礼服・ドレスシャツ・レディースアイテムなどの回収を進めてきました。2023年10月2日より「洋服の青山」「スーツスクエア」「ザ・スーツカンパニー」全店にリサイクリング BOX 「WEAR SHiFT (ウェアシフト)」を設置しています。リサイクリング BOX は、昨今の SDGs への取り組み意識の高まりに合わせて、お客様がより気軽にエコ活動に参加できる“進化”した回収方法としてスタートしました。また、さらなる環境負荷軽減を目指し、衣類が循環できる仕組みの実現に向けた想いをロゴとスローガン「終わらない服をつくろう。」に込め、取り組みを推進しています。



### 【リサイクリング BOX】

サイズ：縦 45 cm×横 45 cm×高さ 80 cm

容 量：スーツ約 15 着分程度

素 材：廃繊維 100% (リフモボード※)

※繊維廃棄物を加熱・加圧形成した素材で、繊維が絡み合った構造のため割れにくく、破片が飛散しにくいのが特徴です。古着や古布などから作られているため、環境配慮型素材として注目されています。

◎終わらない服を作る WEAR SHiFT とは？

洋服の青山 YouTube 公式チャンネル

<https://youtu.be/yBbE45gxeOM>

◎青山商事のサステナブルな活動を発信するメディア

「AOYAMACTION (アオヤマクション)」URL

<https://www.y-aoyama.jp/aoyamaction/>

## 衣類の回収量に応じて森林保全団体「more trees」に寄付

2021年度より、衣料品の回収量に応じて森林保全団体「more trees(モア・トゥリーズ)」に1キロあたり2.5円を寄付する取り組み(年間上限100万円)を行ってきました。2024年4月1日からは、1キロあたり10円(年間上限500万円)に寄付額を変更し、取り組んでいます。



### <衣料品回収量に応じた寄付の実績>

2021年度：回収量 340,129kg／寄付額 850,322円

2022年度：回収量 349,972kg／寄付額 874,930円

2023年度：回収量 355,435kg／寄付額 888,588円

◎この他、2022年12月に、当社はmore trees・高知県梶原町の3者による「森林保全に関する連携協定」を締結し、『AOYAMAの森』を始動しました。

詳細：<https://bit.ly/3MkhUux>